

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	漂砂
相談タイトル	1級河川の河口に属する漁港の泊地埋没対策について
相談者	熊本県
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルトや粘土等の浮泥による影響がある場合、『航路・泊地埋没対策ガイドライン』の対象外となり、明確な手法が確立されていない。効果的な対策工法を検討するため漂砂シミュレーションを行う予定であるが、各種のパラメータ設定・解析手法・考慮すべき特記事項等、計画策定にあたって留意すべき点などについて教示してほしい。 ・有明海及び八代海の一部において、漁港周辺及び泊地内の堆砂が著しく、浚渫土砂の処分等に苦慮している。土砂処分方法や有効活用方策の事例収集等を行っているが、他の事例や対策手法についてお聞かせ頂きたい。
相談会の結果 (R01.8.29)	<p>水工研より以下のアドバイスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該漁港泊地の堆積物はシルトとのことであるが、水産庁の埋没対策ガイドラインは砂に関するものであり、シルテーションは対象としてない。シルトの主たる駆動力と考えられる潮流に波や風の影響を入れて、シルトの巻き上げ、沈降、輸送の過程を計算して当該漁港泊地の埋没量を算定することをお勧めする。対策として構造物を作るにしても、窪地の貧酸素化や材料からの特定成分の溶出等、ノリ養殖を含む周辺環境に影響が出ないように留意する必要がある。 ・漁港漁場新技術研究会がHPに掲載している資料「浚渫土処理・有効活用技術の概要」を紹介。安定処理に関しては港湾区域などでモニタリングされており、水質基準などから大丈夫と判定されている。ただし、改質土を使った場所で生物量や種類数が増えても、実際に漁獲物として利用できるかという点では不安な部分もあることに留意。分級して砂分を利用することにより、処分量の減容化する方法も紹介。
相談会後の検討状況	<p>持ち帰って検討し、詳細について必要があれば再度相談する。</p>